

第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

①第三者評価機関名

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK2024119、SK2025009、S2024038

③施設の情報

名称：児童養護施設合掌苑	種別：児童養護施設
代表者氏名：成澤 武史	定員（利用人数）：40名（34名）
所在地：郡上市美並町上田674	
TEL：0575-79-2914	ホームページ：http://www.gashyouen.com/
【施設の概要】	
開設年月日：昭和27年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 合掌苑	
職員数	常勤職員：39名 非常勤職員：8名
有資格 職員数	児童指導員：8名 栄養士：3名
	保育士：24名 臨床心理士：1名
	社会福祉士：1名 看護師：1名
施設・設備 の概要	分園型小規模グループケア：4棟 1グループケア児童数：6名

④理念・基本方針

【理念】

拌み合う心から“わかり合い・助け合い・磨き合う”

人と人との関係の中で、健やかに成長し合う

地域の福祉ニーズに応え、社会に貢献できる人材育成・法人運営

【基本方針】

私たち、合掌苑職員は理念・心得を大切に、以下の事を宣言し、子どもの最善の利益を追求し、養護に励みます。

① 子どもの意見を聞き、話し合うことで子どもとの信頼関係を築き、安心安全な生活を目指します。

それによって子ども自身の情緒の安定を図り、安心安全で合掌苑で生活できるようにします。そのために、笑顔を持って子どもに接し、挨拶、言葉使いや、コミュニケーションのスキルが身に付くよう援助します。

② 共に生活することで相手を認め、思いやる心が育むよう支援します。

やさしく寄り添いながら子どもを褒め、スモールステップを積み上げ認めることで自己肯定感を育みます。その為に、話しやすい態度や環境づくりを行います。
それぞれの子どもの自己肯定感が高まることで、他者を認め、認め合う・思いやる生活を目指します。

③ 夢や目標に向かった支援をすることで自立・家庭復帰を目指します。

子ども相談センター、学校、医療、家庭、地域との連携を持って、入所児童の多角的な支援を行います。子どものアセスメント、将来をプランニングすることで社会性を育んだ支援をします。子どもの健康に配慮し、学力・体力の向上を支援します。

⑤ 施設の特徴的な取組

昭和27年4月に定員30人の社会的養護を担う児童養護施設として事業を開始した。その後、定員の増減を経て平成26年から定員40人で運営している。

現在は、国が推進する社会的養護推進計画に基づき、施設の小規模化、地域分散化を通じて、施設の高機能・多機能化を目指す「合掌苑将来構想」(社会的養護推進実施計画)に則った各種の整備が進められている。昨年4月に分園型小規模グループケア4棟が完成したことで、合掌苑として完全小規模に移行し、こどもたちの暮らしは、より家庭的になり、各ホームにおいてプライベートな個室が確保され、食においても各ホームでの調理をしており、穏やかな日常生活を過ごしている。

さらに本館の大規模改修事業により、令和8年度からの多機能化・事業拡大を目指している。

⑥ 第三者評価の受審状況

評価実施期間(和暦)	令和7年7月4日(契約日) ~ 令和8年3月9日(評価結果確定日)
前回の受審時期 (評価結果確定年度・和暦)	令和4年度

⑦ 総評

◇特に評価の高い点

・施設の小規模化、地域分散化、高機能(家庭復帰や自立支援等に係る一層の専門化)・多機能(一時保護や地域家庭への相談支援等の取組)化を目指す「合掌苑将来構想」(社会的養護推進実施計画)を取りまとめる中で、施設運営の方向性を明確にし、さらに年度毎の事業計画作成時にその振り返りを行い具体的な取組に繋げている。

・前回受審時に、改善すべき点として指摘した内容について、速やかかつ的確に対応されており、改善が図られている。

・経営改善や業務の実効性を高める取組は、施設長一人だけでは全てできるものではないとの信念のもと、協力者となる職員の育成を図りながら、施設の整備や業務改革に取り組んでいる。

- ・ 新人職員については、チューター制度を導入し、各チューターから育成状況を確認するなど、職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。
- ・ 職員面談の他、メンタルヘルスチェックを制度化し、本人へのフィードバックと就業状況の把握と就労への配慮にも役立てている。また、職員の勤怠管理をスマホアプリで行うシステムの導入、業務にかかる情報を秘匿性の高いビジネス用コミュニケーションツールを活用して職員間で共有できるようにするなど、働きやすい職場づくりに取組んでいる。
- ・ 遊びスペース、所有するプールの開放は、確かな見守りによって地域貢献がなされる。さらに今年度学校教育に精通した職員採用により、養育全般に加え、教育上の相談依頼にも応えている。一方現在建築中であるが本館棟には、災害時における地域住民へのサービス対応可能なスペースが設けられ、マニュアル等の整備とともに公益に資する体制を整えつつある。
- ・ 全体計画に従い、施設の小規模化がなされ、本館の改修工事も着手されており、今まで以上に安心安全な環境での養育を目指してハード面での整備がなされている。こどもの最善の利益を追求する姿勢が苑長以下職員全体で取組む姿が、日常のかかわりに表れている。

◇改善を求められる点

- ・ 合掌苑は、現在様々な施設の整備を進め、子どもたちの住環境等が大きく変わろうとしている時でもあり、こうした変化をあらゆる機会・場面・ツール等を通し、保護者にもこれまでも増して、周知・理解が促されることに期待したい。
- ・ 職員の職務遂行能力、成果や貢献度等を一定の基準で評価する人事制度の創設にも期待したい。
- ・ 措置変更、地域・家庭への移行等における養育・支援の継続性の配慮については、自立支援担当職員ならびにFSW（家庭支援専門相談員）が中心となり対応し、その後の窓口にもなっている。ただ、引継ぎ文書等について定型化したものはなく、ケース記録としてまとめたもの等を送付している。現時点において不都合はなさそうであるが、今後過不足や情報として不十分さを問われかねず、適切な文書化を進めていただきたいと願う。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

この度は評価いただきありがとうございました。今回評価いただいた内容につきましては職員へフィードバックを行い、出来ている点については自信をもって取り組んでいきたいと思えます。また、改善が必要な点について評価いただいた内容を参考に、出来るところから取り組んでいきたいと思えます。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。